



# R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2010～2011 年度 高山中央 RC 会長テーマ  
「心をつくし、力を合わせて」

◆会長 清水 幸平 ◆幹事 大保木 正博 ◆会報委員長 今井 俊治 ◆会報担当 新井 信秀

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

## <出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 849 回	49 名	48 名	39 名	—	81.25%
前々回 847 回	49 名	48 名	44 名	1 名	93.75%

<点 鐘> 会長 清水 幸平

<本日のゲスト>

医療法人 同仁会 理事長  
折茂 謙一 様  
レザミひだ 代表取締役  
折茂 佑子 様

<会長の時間> 会長 清水 幸平

皆様こんにちは。今年はほんとうに暑い日が続きますね。日本本土は亜熱帯気候になったのではないかとニュースで紹介していました。バナナの苗を育てていたら今年は美味しいバナナが生ったということです。北海道でも異常気象で災害が多発しました。さんまも海水の温度が高いということで不漁という予測です。

さて、本日は職業奉仕委員会の職場訪問例会です。レザミひだ様を訪問させていただきました。当施設は、皆様ご案内のように高山西クラブの折茂先生ご夫妻によって運営されています。折茂先生ご夫妻にはたいへんお忙しい中、私たち高山中央ロータリークラブの例会場としてお貸しいただき誠にありがとうございました。

ところで本年度は、職業奉仕委員会の担当例会数を 4 回とさせていただきます。従来の例会数からすると倍増になります。ロータリークラブにとって、職業奉仕は重要な奉仕だと思ひこのように計画させていただきました。

高山中央ロータリークラブの発足当時、初代幹事の溝際清嗣氏は「ロータリークラブは職業奉仕なんだ」と強調され、その後も折に触れ私たちにこのことを教えて下さいました。私はその意志を継いで、高山中央ロータリークラブは職業奉仕を大切にしていきたいと思っています。山本委員長も新しい事業を企画しておられます。どうぞ期待してください。

本日はその 4 回の例会の第 1 回目です。折茂先生には医師というお仕事を通しての奉仕の実践をお聞かせいただけ

ればと思います。また介護施設を見学をさせていただき、老人介護の現場を通して福祉の現状を考えさせていただきたいと思っています。先生ご夫妻にはどうか宜しくおねがいいたします。



<幹事報告>

幹事 大保木 正博

◎2010～2011 年度地区大会実行委員長より

・友愛の広場「パネル展示物」のお願い

○米山梅吉記念館より

・館報 16 号

・秋季例祭のご案内 9 月 18 日 (土) 14:00～

○高山ロータリークラブより

・例会変更、休会のお知らせ

\* 9 月 9 日 (木) → 13 日 (月)

12:30～ ひだホテルプラザ

高山 3 RC 合同ガバナー公式訪問例会

\* 9 月 23 日 (木) 休会 法定休日

\* 9 月 30 日 (木) → 10 月 2 日 (土)

高山グリーンホテル IM

○高山西ロータリークラブより

・例会変更のお知らせ

\* 9 月 10 日 (金) → 13 日 (月)

12:30～ ひだホテルプラザ

高山 3 RC 合同ガバナー公式訪問例会

\* 9 月 24 日 (金) 環境保全委員会 森のエコハウス

\* 10 月 1 日 (金) → 2 日 (土)

高山グリーンホテル IM

## 〈本日のプログラム〉

### 職業奉仕委員会

山本 委員長

本日は、職業奉仕委員会担当例会です。職場訪問でレザミひだメディカルケアガーデンさんを訪問させていただきます。又、医療法人 同仁会 理事長 折茂 謙一先生 高山西クラブメンバーでもございます。

並びにメディケアガーデン(株)レザミひだ代表取締役 折茂 佑子様の大変お忙しい中、ご同席頂きましてありがとうございます。お二方には後ほどお話を聞かせていただきます。その後施設を見学させていただきます。

又、メンバーの方には布等をお持ちいただきありがとうございました。これから担当例会が4回ありますが、ぜひ職業奉仕についてご理解を深めていただきますようお願いいたします。



## 〈職場見学〉

### 医療法人 同仁会 理事長

折茂 謙一 様 (高山西RC)

高山中央RCの皆様、本日はようこそお越しくございました。ありがとうございます。

谷腰さんのご尽力により私たちのこの職場を訪問していただくことになり、本当に心から感謝しております。

私どもの施設は平成21年4月1日にオープンをしました。設立したのは、高齢者が安心安全快適に生活できることを目指して、医療介護食事（このレストラン）、更には若い世代の方の子育て支援ということで病時児保育室も併設した複合施設を造りました。

現在高齢者の生活についてはたくさんの様々な問題がありますが、どのようにして現在に至ったかを説明いたします。

私は、昭和47年に名古屋から久美愛病院に外科医として赴任してきました。当時は70歳位の人を手術しようとすると、家族や親戚に相談して、「もうこれで充分生きたので、手術をしたくない。」とかいうふうな、現在のように高齢者が多くない状況でした。

また、その頃は老人医療費は無料だったので、全国いたるところの病院は、病気ではないけれども病院で生活するという、いわゆる社会的入院の人が非常に多かったのです。従って日本中の病院は全て満室で、緊急入院の必要があっ

てもたらい回しにされる状況が続いていました。

そういうわけで、病院中が老人ホームの様相を抱えていて医療費がどんどん高騰し、医療費赤字が拡大する状態でありました。

そこで何とか医療費を少しでも削減するために、社会的入院の人たちを別のところへ持っていかうということになり、昭和64年に老人保健施設ができました。

老人保健施設というのは、3ヶ月間リハビリして自宅に帰っていくという施設です。病院に入院していると高齢者1人当たりおおよそ1月60万円。老人保健施設に入ると20～30万円で、約半額になります。

平成9年、私たちが桐生町に「それいゆ」という老人保健施設を開設ころには、全国でも2500くらいの施設ができていました。一つの施設で百人くらい入れるので、当時25万人ほどが施設を利用していたことになりました。

ところが、老人保健施設になっても医療費として負担が来るため、医療費は年々高騰していきました。

(平成17年、小泉内閣のとき医療費が年間33兆円にまで膨らみ、このうち老人医療費が11兆円となり、何とか医療費からの切り離しが検討されました。)平成12年には3兆円ほどの予算で介護保健制度がスタートしました。

それまでは、老人介護施設へ入れると「姥すて山に入れた」かのように、家族や親戚の反対に会い、施設に入ることをあまり喜ばない状況でありました。

しかし介護保健ができたので制度を正々堂々と利用しようという流れになり利用者が増えました。

平成17年には7兆円を超えるまでになり、うなぎのぼりに増えたため、介護保険料の上昇を抑えるために大型の介護保健施設(特別養護老人ホームや介護老人保健施設など)建設を止めようという動きになり、今は大型の施設はできなくなりました。



一方小泉内閣の骨太の医療改革により、病院の入院も制限しようという流れになりました。

一般の病院は3ヶ月、急性期の病院は30日を超えると医療費を安くし、病院経営の圧迫になる仕組みができました。そのため、行き場の無い高齢者(医療難民)がどんどん増えています。

現在日本の総人口は数年前にピークを超えて減少に向かっているが、高齢者人口はどんどん増え続け30年ほどは続くと思われます。高齢化率も現在20%台ですが、2050年頃には倍の40%ほどになりそうです。現在日本全体で高齢者人口は約3000万人で、そのうち介護認定を受けて

いる人が 450 万人。特別養護老人ホームに 40 万人、介護保健施設は 30 万人、介護療養所が 12 万人、有料老人ホームが 10 万人、グループホームで 12 万人となり、合計すると 100-110 万人が施設を利用できているということです。従って残り 35 万の人たちは在宅でなんとか家族などが面倒を見て生活をしているという状況になります。

高山市の場合 65 歳以上の人たちが約 24000 人、介護認定を受けている人が約 2700 人、介護施設などが約 1200 人分用意されているので、残り 1500 人は在宅で面倒を見てという状況です。

国は、病気や介護の必要があってもなるべく在宅で面倒を見てほしいという方針です。

ところが日本の高齢者の特徴は、独居老人、高齢者の単身生活者、高齢者の夫婦らの比率がおよそ 6 割です。そして残り 4 割の方が家族と一緒に暮らしています。夫婦共稼ぎとかもあり、家族で十分介護ができないもあり、介護保険をなるべく使わない有料老人ホームや高齢者専用の賃貸住宅を造っていき今の問題を解決しないといけないというのがだいたい現状であります。

最後にここの施設の説明をいたします。

ここの施設の設計は日建設計で、施工は竹中工務店です。道路を挟んで隣接するのがわに薬局と折茂医院で、医師は私が外科担当、消化器専門の内科医として浅野先生に高山赤十字病院から来て頂いていますので、胃カメラ撮影や大腸検査も可能です。

このレストランでは、入所している方だけではなく外部からこられた方にも利用していただけます。

玄関をはさんでデイサービスセンター「れざみ」があり、30 名程度の受け入れができます。

2 回の向こう側がリハビリジム「レザミ」で、加圧トレーニングが行えます。

加圧トレーニングは佐藤先生が発明された方法で、短時間で効果があり、これを利用したりハビリジムを行っています。（軽負荷運動で高負荷運動同様の効果が得られる）

その隣に事務室があり、訪問介護・看護があります。また、南の端には高山市の委託事業として病児保育を行っている部屋があります。

病児保育室もオープン時にはあまり利用がありませんで

したが、最近は皆さんに利用していただいているのでありがたく思っています。

3 階から 5 階が有料老人ホームになっていて、癌の末期の方やターミナルのかた、医療で寝たきりの方、認知症の方をはじめ、一応自由に動けるが食事の支度が十分できないような方も入居できるようになっています。

対面に見えるのが高齢者賃貸住宅で広さが約 60 平米、お風呂とトイレが付いていて一部屋に 2～3 人生活ができます。雪またじや掃除は大変だけれど生活は自立できる方、買い物や料理は出来るといった方が入居することができます。

そして、障害が出てそのまま一生生活できる仕組みになっています。

（折茂佑子先生から有料老人ホームと高齢者賃貸住宅価格設定などに関する説明）



本日は、高山中央 RC の皆様にお越しくささいまして、ありがとうございます。あとは施設を十分にご覧になってください。

#### <ニコニコBOX>

本日は、職場見学を私共の施設においで下ささいまして、ありがとうございます。

**折茂 謙一 様 折茂 佑子 様**

レザミひだ様 本日はよろしくお願ひします。高齢化が進む中、飛騨地区の高齢化対策に民間の立場から尽力されてみえる事に心から敬意を表します。 **役員・理事一同**

本日は、折茂先生には、大変お世話になりありがとうございます。介護施設の見学ををさせて頂き、介護の現状について学ばせて頂きたいと思ひます。 **清水 幸平**

レザミひだ様、それいゆ様、いつもお世話になりありがとうございます。折茂先生、本日はありがとうございます。 **松之木 映一**

折茂理事長様、折茂代表様、本日はよろしくお願ひ致します。 **久々野 国良**

折茂先生、奥様ゲスト出席ありがとうございます。講話と施設説明をよろしくお願ひします。 **山本 辰男**